

幼研だより

【発行所】

久留米市幼児教育研究所

久留米市莊島町11番地1

(総合幼児センター2階)

電話 (0942) 35-3812

創刊：昭和54年5月15日

～ ご 挨拶 ～

久留米市幼児教育研究所長

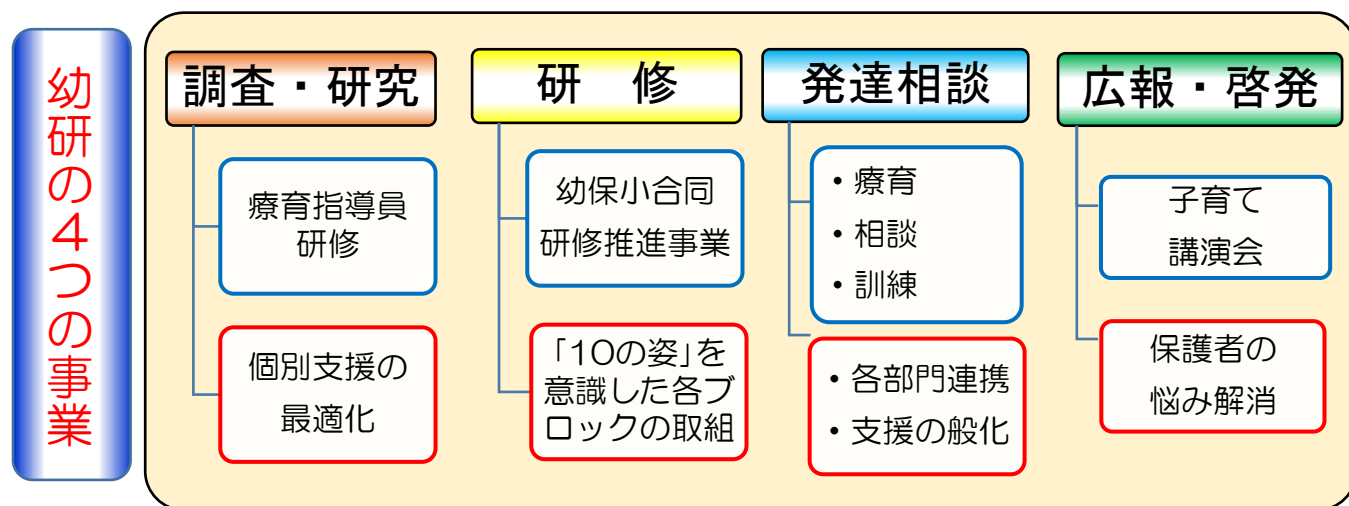
本研究所は、「第2期くるめ子どもの笑顔プラン(R2～R6)」の基本理念「子どもの笑顔があふれるまちづくり」に基づき、本市の乳幼児保育教育の発展や発達に遅れや偏りがある幼児への支援の充実を目指した事業を進めています。具体的には「調査研究」、「研修」、「発達支援」、「広報・啓発」の4事業を実施しています。(下図参照)

これらの事業を充実させるためのキーワードは「専門性」と「連携」だと感じています。

本研究所のスタッフは、療育指導員保育士、相談員、社会福祉士、臨床心理士、医師、小学校教員、言語聴覚士(委託)と様々な職種の人材が集まっており、それぞれが「専門性」を有しています。この「専門性」を十分に発揮するためには「連携」が必要です。

発達相談事業を例にとると、「初回面談(相談員)→発達検査(臨床心理士)→診察(医師)→全職員で個の発達の状態及び必要な支援を検討・共有→集団療育(療育指導員保育士)や個別訓練(言語、行動、作業)の実施」の流れの中で各セクションで得た情報を共有したり、情報をもとに判断したりする「連携」を行っています。さらに、セッションごとやセッション間の「カンファレンス」によって、必要な支援をブラッシュアップしています。

幼研の取組は、幼稚園や保育所、小学校との連携によって、さらに充実したものになっていくと考えています。本年度の各事業の取組へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



本年度の発行物、行事等の予定

- ◆「にじのかけ橋」・・・本年度は、内容を整理してリーフレット版を配布します。
- ◇「幼研だより」・・・年3回の発行予定です。
- ◆「子育て講演会」・・・7月22日(土)に開催予定です。(通所している保護者対象です)

療育学級の紹介

〇つくし学級 【対象：0～2歳児】

ふれあい体操や親子遊びを通して、身近な大人に意識を向けて、愛着形成を促していきます。また、それぞれの子どもに合った遊びを通して発達を促していきます。

〇りす学級 【対象：0～2歳児】

ふれあい体操や遊びを通して、大人や友だちと関わる楽しさを体験します。また、同年代の友だちを意識することができる活動も取り入れていきます。

〇ひよこ学級 【対象：0～2歳児】

親子遊びを通して身近な人との関わり方を学び、集団への参加を促します。活動内容をわかりやすく示して成功体験を増やすことで、集団活動の楽しさを学びます。

〇年少学級 【対象：3歳児（年少）】

〇年中学級 【対象：4歳児（年中）】

〇年長学級 【対象：5歳児（年長）】

子どもの年齢や発達段階、それぞれの特性に応じて環境調整を行い、集団活動に参加できたという成功体験を積み重ねていきます。

感情や行動のコントロールが苦手な子どもに対して、指導員がモデルで示したり、丁寧な説明（視覚的にわかりやすく示す）を行ったりすることで、子ども自身が適切な行動を選択できるように促し、その行動を強化していきます。また、それぞれの年齢で必要な生活（社会）スキルを学び、集団生活に適應できるよう発達を促します。

作業訓練を新設しました！

令和5年度6月から、「発達に遅れや偏りのある子どもの行動統制を促す作業訓練」通称「作業訓練」という個別の訓練を新設します。この訓練は、「視覚的に示す」「活動の見通しを持たせる」「今ここで何をすべきか明確に示す」などの技術を取り入れ、子ども自身が適切な行動を選択できるように発達を促していきます。

「保育所や幼稚園等、家庭で適應する」という幼研の発達支援事業の目標に向かって、個別の訓練や集団での療育を進めていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

発達の状況に応じて、個別の訓練
【言語訓練・行動訓練・作業訓練】
を実施します。

療育指導員研修のテーマを決めました☆

令和5年度の療育指導員研修のテーマは、「園での支援に活かすことができる療育活動や支援方法の追究～保育所等のニーズや困り感を捉えた上での療育活動を通して～」です。

昨年度まで保育所等で勤務した経験や保育士の皆さんを対象とした講演会のアンケートから、保育所等のニーズや困り感を捉え、支援方法を追究していきます。研修の成果については、HPや報告書等を使って発信予定です。